

トンネル換気設備・非常用施設 点検・整備標準要領（案）新旧対比表 令和7年3月版

章	節	条	項	項目見出し	現行条文	章	節	条	項	項目見出し	改定条文（案）	改定理由																	
					表紙					表紙																			
					国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 施工安全企画室					国土交通省 大臣官房 技術調査課 施工企画室		修正																	
1				第1章	総則	1				第1章	総則																		
1		1		第1条	目的	1		1		第1条	目的																		
1		2		第2条	適用範囲	1		2		第2条	適用範囲																		
1		3		第3条	用語の定義	1		3		第3条	用語の定義																		
1		4		第4条	点検・整備	1		4		第4条	点検・整備																		
					トンネル換気設備・非常用施設の機能維持、機能回復、信頼性確保等を図るため計画的な点検・整備を行わなければならない。 【解説】 設備の機能を維持するためには、効果的な点検・整備が不可欠である。点検・整備を分類すると定期的に行うものと、臨時的に行うものがあり、定期的な点検・整備については、その周期を定めて、計画的に行うことが必要である。 点検・整備の区分概要を表1－1に示す。					トンネル換気設備・非常用施設の機能維持、機能回復、信頼性確保等を図るため計画的な点検・整備を行わなければならない。 【解説】 設備の機能を維持するためには、効果的な点検・整備が不可欠である。点検・整備を分類すると定期的に行うものと、臨時的に行うものがあり、定期的な点検・整備については、その周期を定めて、計画的に行うことが必要である。 点検・整備の区分概要を表1－1に示す。		点検内容の追加																	
					<table><tr><td></td><td>点 検</td><td>整 備</td></tr><tr><td>目 的</td><td>設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認</td><td>設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復</td></tr><tr><td>方 法</td><td>主として分解を伴わない。 目視、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。</td><td>主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。</td></tr></table>		点 検	整 備	目 的	設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認	設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復		方 法	主として分解を伴わない。 目視、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。	主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。				<table><tr><td></td><td>点 検</td><td>整 備</td></tr><tr><td>目 的</td><td>設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認</td><td>設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復</td></tr><tr><td>方 法</td><td>主として分解を伴わない。 目視^注、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。</td><td>主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。</td></tr></table> 注）機器の構造上、不可視となる箇所の目視点検は工業用内視鏡等を用いた確認を行うものとする。		点 検	整 備	目 的	設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認	設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復	方 法	主として分解を伴わない。 目視 ^注 、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。	主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。	
	点 検	整 備																											
目 的	設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認	設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復																											
方 法	主として分解を伴わない。 目視、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。	主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。																											
	点 検	整 備																											
目 的	設備の故障、疲労劣化等、機能損失の有無、機器等の取付け状況等の確認	設備の故障、疲労劣化等の防止もしくは機能の回復																											
方 法	主として分解を伴わない。 目視 ^注 、聴覚、嗅覚、指触、打診、作動テスト（動作確認）及び簡単な器具（温度計、水位計、スケール等）を用いた計測により行う。	主として分解を伴う。 清掃、塗装、給油脂、調整、修理、機器・部品の取替等を工具、用具を用いて行う。																											
1		5		第5条	記録	1		5		第5条	記録																		
2				第2章	点検	2				第2章	点検																		
2		6		第6条	点検の種類	1		6		第6条	点検の種類																		
2		7		第7条	月点検	1		7		第7条	月点検																		
2		8		第8条	年点検	1		8		第8条	年点検																		
2		9		第9条	管理運転	1		9		第9条	管理運転																		
					定期点検時には、設備の作動確認、装置・機器内部の防錆やなじみの確保を目的とし、原則として管理運転を実施する。 【解説】 定期点検時には、原則として管理運転を実施する。 特に非常用施設は、通常の運用ではほとんど運転されないことから、信頼性を確保するため定期的に管理運転を行い、機器が正常に動作することを確認しておくことが重要である。					定期点検時には、設備の作動確認、装置・機器内部の防錆やなじみの確保を目的とし、原則として管理運転を実施する。 【解説】 定期点検時には、原則として管理運転を実施する。 通常の運用では運転回数が少ないことから、信頼性を確保するため定期的に管理運転を行い、機器が正常に動作することを確認しておくことが重要である。		修正																	
2		10		第10条	臨時点検	2		10		第10条	臨時点検																		
3				第3章	整備	3				第3章	整備																		
3		11		第11条	整備の種類	3		11		第11条	整備の種類																		
3		12		第12条	定期整備	3		12		第12条	定期整備																		
3		13		第13条	保全整備	3		13		第13条	保全整備																		
4				第4章	点検・整備内容	4				第4章	整備																		

トンネル換気設備・非常用施設 点検・整備標準要領（案）新旧対比表 令和7年3月版

章	節	条	項	項目見出し	現行条文	章	節	条	項	項目見出し	改定条文（案）	改定理由
4		14		第14条	点検・整備内容	4		14		第14条	点検・整備内容	
4		15		第15条	点検・整備記録	4		15		第15条	点検・整備記録	
5				第5章	維持管理	5				第5章	維持管理	
	1			1。	保管		1			1.	保管	
5	1	16		第16条	予備品	5	1	16		第16条	予備品	
5	1	17		第17条	工具類	5	1	17		第17条	工具類	
5	1	18		第18条	図面及び記録類	5	1	18		第18条	図面及び記録類	
	2			2。	記録		2			2.	記録	
5	2	19		第19条	設備履歴簿	5	2	19		第19条	設備履歴簿	
5	2	20		第20条	運転記録	5	2	20		第20条	運転記録	
5	2	21		第21条	故障記録	5	2	21		第21条	故障記録	
5	2	22		第22条	設備の改良・更新の記録	5	2	22		第22条	設備の改良・更新の記録	

付表１－２ トンネル換気設備点検・整備チェックシート 変更箇所 令和７年３月

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

送・排風機設備 (1/3)

点検・整備の種類

X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点 検 ・ 整 備 周 期 と 点 検 方 法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考			
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月 点 検	年 点 検	臨時 点 検				定期 整 備	良否の 判定			点検結果の内容と 提案事項の記述	
送・排風機設備	送風機	全般	運転確認	連動、単独操作での運転ができるかを確認する。		D	D	(D)	—	運	起動条件の確立、連動運転、単独運転ができること。	原因を調査し対処する。				
			運転状況	正常な運転がされているかを確認する。		E,H,S	E,H,S	(E,H,S)	—	運	羽根車の回転、振動、騒音などで、異常がないこと。	原因を調査し対処する。				
			据付状況	据付基礎にひび等はないか。基礎ボルトに緩みなどはないか確認する。		E	E,H,S	(E)	—	運及び休	前回から変化のないこと、ハンマリング等によりボルトの緩みがないこと。	増締めする。運転に支障があれば対策を検討し対処する。				
		ケーシング	異物	異物の侵入がないかを確認する。		E	E,S	—	W	運	異物の侵入、断続音、異音がないこと。	停止し原因調査の上、異物の除去。				
			外観	ケーシング外面、フランジ溶接面、脚部溶接部等の外観を確認する。		—	E	—		休	汚損、塗装の剥離、劣化、異常な腐食、亀裂がないこと。	清掃、塗装又は修理する。				
			振動	閉塞や回転体の異常がないことを確認する。	○	E,H	M	—		運	振動が基準値以下であること。増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(μm)	測定値(μm)
			騒音	閉塞や回転体の異常がないことを確認する。	○	S	S,M	(S)		運	騒音が基準値以下であること。増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(dB)	測定値(dB)
		羽根車	外観	羽根車の表面の腐食状況。ダストの堆積、湿潤状況を確認する。		—	E	—	W	休	腐食、ダストの堆積がないこと。	清掃又は除去する。				
			取付状況	羽根取付状況、可変翼の動作状況を確認する。		—	E	—		運	ガタツキがないこと。動きがスムーズであること。	原因を調査し対処する。				
		中間軸	外観	外観を確認する。		—	E	—	W	休	腐食・亀裂・損傷、変形等がないこと。	修理又は取替える。				
	送排風機用電動機	絶縁抵抗	絶縁抵抗値を測定する。	○	—	M	—	M	休	基準値以下に低下していないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(MΩ)	測定値(MΩ)	
		接地	接地線の状態を確認する。		—	E	—	E	休	接地線が正常に結線されていること。	修理する。					
		電圧	正常であることを確認する。	○	E	M	(M)	M	運	電圧が基準値以内であること。	原因を調査し対処する。			基準値(V)	測定値(V)	
		電流	電流値により、送風機の運転が正常であることを確認する。	○	E	M	(M)	M	運	定格電流値以下であること。増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(A)	測定値(A)	
		温度	機側盤の計器にて、固定子温度に異常はないかを確認する。	○	E	M	—	M	運	温度が基準値以下であること。増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(℃)	測定値(℃)	

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

1/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設備名：

実施年月日

送・排風機設備 (2/3)

点検・整備の種類		点検指示事項						良否の判定		
		X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視	○
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診	△	異常傾向有り	
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)				×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点検箇所 点検方法	点検・整備周期と点検方法					点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備考		
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月点検	定期点検 年点検	臨時点検	定期整備				良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述			
送・排風機設備	送・排風機	軸受	振動	軸受の振動により、機器の状態、潤滑状態等を確認する。	○	E	M	－	M	運	振動が基準値以下であること。 増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(μm)	測定値(μm)
			温度	機側盤の計器にて軸受温度を確認する。	○	E	M	－	M	運	温度が基準値以下であること。 増加傾向にないこと。	給油状況等の原因調査。 軸受を取替える。			基準値(℃)	測定値(℃)
		軸継手	取付状況	軸継手の取付状態を確認する。		－	E	－	E	休	接続部に緩みがないこと。	増締めする。				
		減速機	振動	軸受の振動による機器の状況、潤滑状態等を確認する。		H	H	－	W	運	異常振動がないこと。	原因を調査し対処する。				
			音	異音はないか確認する。		S	S	－		運	異音のないこと。	原因を調査し対処する。				
			潤滑装置の状況	潤滑装置の各機器の動作状況、性能を確認する。		D,E	D,E	－		運及び休	各機器が正常に動作すること。	清掃、部品取替、又は油脂取替え。				
	ダンパ	ダンパ	コントロールモータの動作	正常に動作することを確認する。		－	D	－	W	休	全開、全閉に動作できること。	原因を調査し対処する。				
		軸受損傷	動作時に軸受けから異音等がないかを確認する。		－	S,D	－	休		軸受、羽根の動作時に異音がないこと。	調整又は取替える。					
		ダンパ翼の変形	翼の周囲状況、翼の変形がないかを確認する。		E	E,D	－	休		翼の変形がないこと。	修理又は取替える。					
		外観	外観を確認する。		E	E	－	休		異常な腐食、損傷、ダンパ内に異物がないこと。	異物を除去、修理、又は取替える。					
	ダクト関係機器	ダクト	音	異常な気流音や空気漏れ音を確認する。		－	S	－	C,T	運	うなり音等の異音がないこと。	原因を調査し対処する。				
			外観	ダクト、継ぎ手等に腐食が発生していないかを確認する。		－	E	－		休	異常な腐食、発錆がないこと。	塗装、修理又は取替える。				
			異物風路内	風路内にダスト、異物が堆積していないかを確認する。		－	E	(E)		休	風路内のダスト異物の堆積がないこと。	清掃又は除去する。				
			異物風路外	車道や換気塔の吸排気口に異物はないかを確認する。		－	E	(E)	E	運及び休	鳥の巣やビニールシートなどの異物がないこと。	清掃又は除去する。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

送・排風機設備 (3/3)

点検・整備の種類

X

A

D

取替

調整

動作確認

C

M

S

清掃

測定

聴覚

W

T

○

分解

増締

トレンド管理(推奨)

E

H

目視

指触・打診

良否の判定

○

△

×

良好

異常傾向有り

故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨 時 点 検	定期 整 備			良否の 判定	点検結果の内容と 提案事項の記述	
送・排風機設備	関係機器 ダクト	コーナー ベーン	取付状況		—	E,H,S	—	C,T	運 及 び 休	打音テストでボルトの緩みがないこと。	増し締めする。		
			外観		—	E	—		休	破損、腐食がないこと。	塗装、修理又は取替える。		
	付属機器	動翼可変装置	可変機構異常		—	D,E	—	W	運 及 び 休	翼が正常に動作すること。	可変機構、油圧又は空圧装置の調査。		
			油圧(空圧)装置		E,D	E,D	—		休	各機器が正常に動作し、フィルタに目詰まり等がないこと。	清掃、部品取替え、又は調整。		
		電動機冷却装置	運転状況		E,D	E,D	—	W	運	正常に運転されていること。	原因を調査し対処する。		
			振動		—	E,H	—		運	異常振動がないこと。	原因を調査し対処する。		
			外観		E	E,C	—		運 及 び 休	異常、フィルタ部に目詰まりのないこと。	修理又は清掃する。		
			音		S	S	—		運	異音がないこと。	原因を調査し対処する。		
		消音設備	外観		—	E	—	X	休	腐食、損傷がないこと。	塗装、修理又は取替える。		
	その他	天井クレーン	動作確認		—	D	(D)	—	—	異常なく動作すること。	調整、給油又は修理する。		

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

3/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

ジェットファン設備 (1/2)

点検・整備の種類

点検指示事項

X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定

○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時 点 検	定期 整 備			良否の 判定	点検結果の内容と 提案事項の記述		
ジ ェ ッ ト フ ァ ン 設 備	全般	運転確認	運動、単独操作での運転ができるかを確認する。		D	D	(D)	－	運	起動条件の確立、連動運転、単独運転ができること。	原因を調査し対処する。			
		運転状況	正常な運転がされているかを確認する。		E,H,S	E,H,S	(E,H,S)	－	運	羽根車の回転、振動、騒音などで、異常がないこと。	原因を調査し対処する。			
		据付状況	躯体のひび、基礎ボルトの緩みがないかを確認する。		E	E,H,S	(E)	－	運 及び 休	前点検と比較して、状況に変化のないこと。	増締め、又は修理する。			
		外観	破損、部品の脱落、 腐食 がないかを確認する。		E	E	(E)	－	運 及び 休	破損、部品の脱落、 腐食 がないこと。	原因を調査し対処する。			
		音	異音がないかを確認する。		S	S,M	(S)	－	運	異音がないこと。	原因を調査し対処する。			
	ケーシング	外観	ケーシングの腐食、塗装の剥離等を確認する。		E	E,C	－	W	休	異常な腐食、塗装の剥離、劣化がないこと。	塗装又は修理する。			
		構成部品破損	部品の破損、落下がないかを確認する。		E	E,H	－		休	当てキズ、亀裂等の破損のないこと。	取り外し、又は修理する。			
		振動	ケーシングの外面から振動計により振動を確認する。	○	－	M	－		運	振動が基準値以下であること。増加傾向にないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(μ m) 測定値(μ m)
	羽根車	異物	羽根車のダスト等堆積状況と 異物混入の有無 を確認する。		－	E,C	－	W	休	異物の付着がないこと。	清掃又は除去する。			
		外観	羽根車に 接触・破損、腐食 がないかを確認する。		－	E	－		休	接触・破損、亀裂、腐食 がないこと。	原因を調査し対処する。			
		回転	手回しにより円滑な回転が可能か確認する。		－	D	－		休	重さ、引っかかりがないこと。	原因を調査し対処する。			
	多孔銅板吸音材	外観	外観を確認する。		－	E	－	W	休	腐食や破損、グラスウールの飛び出しがないこと。	修理又は取替える。			

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名 :
実施年月日

計測設備 (1/4)

点検・整備の種類			

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考		
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検		臨 時 点 検				定期 整 備	良否の 判定			点検結果の内容と 提案事項の記述
計測設備	煙霧透過率測定装置	投受光部 BOX	外観、取付状態	外観を確認する。		E	E	—	W	運	発錆、汚損、破損がないこと。	清掃、修理、又は取替える。			
			BOX内	外観を確認する。		—	E	—		運	汚損、異物、水の浸入がないこと。	清掃、異物の除去、又はパッキン取替え。			
			配線の状態	配線の接続状況を確認する。		—	E,H	—		休	端子、端子台の緩み、配線の損傷がないこと。	増し締め又は修理する。			
			電圧	端子一次側電圧が正常であることを確認する。		—	M	—		休	電圧が基準値以内であること。	原因を調査し対処する。			基準値(V)測定値(V)
		投受光部	外観、取付状態	外観を確認する。		E	E	(E)	W	運	発錆、汚損、破損がないこと。	修理、清掃、又は取替える。			
			筒内	外観を確認する。		—	E	—		運	汚損、異物がないこと。 水の進入がないこと。	清掃、異物の除去。			
			音	異音がないかを確認する。		—	S	—		休	内部からの異音がないこと。	原因を調査し対処する。			
			光源	投光部光源ランプに異常がないかを確認する。		E	E	—		運	受光部側から見て光が出ていること。	原因を調査する、又は光源ランプの取替え。			
			レンズの清掃	レンズ面を清掃する。		—	C	—		休	自動校正ステップが40～50となっていないこと。	レンズ面を柔らかい布で清掃する。			
			電圧	端子電圧が正常であることを確認する。		—	M	—		休	電圧が基準値以内であること。	原因を調査し対処する。			基準値(V)測定値(V)
		予備品	予備品数量	予備品を確認する。		—	E	—	—	—	予備品に欠品のないこと。	補充する。			

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

6/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

計測設備 (2/4)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区 分		点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
		点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時 点 検				定期 整 備	良否の 判定		
計測設備	一般化炭素検出装置	CO計	外観、取付状態	外観を確認する。		E	E	—	W	運	発錆、汚損、破損、吸引口に異物がないこと。	清掃、修理、取替え、異物を除去する。			
			内部機器	外観を確認する。		—	E	—		運	汚損、異物がないこと。 水の進入がないこと。	清掃、異物の除去、又はパッキンを取替える。			
			配管	配管のつまりはないかを確認する。		—	E	—		休	配管の緩み、つまりがないこと。	清掃、調整。			
			ポンプ運転状態	運転状態に異常がないかを確認する。		—	S	—		運	動作音があること。異音のないこと。	モータを取替える。			
			スパン校正	スパンガスにより校正する。		—	A	—		休	校正する。	校正用スパンガスにより校正する。			
			消耗部品取替(半年)	半年周期に必要な消耗部品を取替える。		—	X	—		休	取替周期を過ぎていないこと。	指定の消耗部品を取替える。			
			消耗部品取替(1年)	1年周期に必要な消耗部品を取替える。		—	X	—		休	取替周期を過ぎていないこと。	指定の消耗部品を取替える。			
			故障表示	故障表示灯が点灯していないかを確認する。		—	E	—		休	本体故障表示が点灯していないこと。	原因を調査し対処する。			
			電圧	端子一次側電圧が、正常であることを確認する。		—	M	—		運	規定値以内であること。電圧は±10%以内。	原因を調査し対処する。			基準値(V)
	予備品	予備品数量	予備品を確認する。		—	E	—	—	—	予備品に欠品のないこと。	補充する。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

7/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

計測設備 (3/4)

点検・整備の種類

点検指示事項

X

取替

C

清掃

W

分解

E

目視

A

調整

M

測定

T

増締

H

指触・打診

D

動作確認

S

聴覚

○

トレンド管理(推奨)

良否の判定

○

良好

△

異常傾向有り

×

故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時点検	定期整備			良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述		
計測設備	風向風速計	変換器BOX	外観、取付状態	外観を確認する。		E	E,H	—	W	運	発錆、汚損、破損がないこと。	修理、清掃又は取替える。		
			BOX内	外観を確認する。		—	E	—		運	汚損、異物がないこと。 水の進入がないこと。	清掃、異物の除去、又はパッキン取替え。		
			故障表示	故障表示灯が点灯していないかを確認する。		—	E	—		運	本体故障表示が点灯していないこと。	原因を調査し対処する。		
			電圧	端子一次側で電圧が、正常であることを確認する。		—	M	—		休	電圧が基準値以内であること。	原因を調査し対処する。		
		ブローブ	外観、取付状態	外観を確認する。		E	E,H	—	X	運	発錆、汚損、破損、異物の付着がないこと。	修理、清掃、取替、又は異物を除去する。		
	計測盤	盤面	外観	外観を確認する。		E	E	—	E	運	発錆、汚損がないこと。	修理又は清掃する。		
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面を確認する。		H	H	E	H	運	部品に緩みのないこと。開閉、施錠、開錠が容易なこと。	調整し増し締めする。必要により鍵の取替え。		
			フィルタ	盤吸気、排気フィルタに異常がないかを確認する。		E	C	—	X	運	盤吸気、排気フィルタの目詰まりがないこと。	清掃又は取替える。		
		盤内	外観	外観を確認する。		—	E	—	E	運	汚損、異物がないこと。	清掃、異物の除去。		
			絶縁抵抗	絶縁抵抗値を測定する。		—	M	—	M	休	規定値以下に低下していないこと。	原因を調査し対処する。		
			接地	接地線の状態を確認する。		—	E,T	—	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。	増し締め、又は修理する。		
		盤内器具	取付状態	取付状態を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	盤内機器の取付、筐体に緩みのないこと。	増し締めする。		
			配線の状態	配線の接続状況を確認する。		—	E,H	—	E,H	休	端子、端子台に緩みはないか。配線に破損はないか。	増し締め。破損の場合は修理する。		
			端子、端子台の状態	外観を確認する。		—	E,H	—	E,H	休	異物・埃の付着、緩み、加熱による変色のないこと。	清掃、増し締め、又は原因を調査し対処する。		
			端子符号の脱落	外観を確認する。		—	E	—	E	運	脱落、読みとり不良のないこと。	取替える。		

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

8/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設備名:

実施年月日

計測設備 (4/4)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点検箇所 点検方法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備考			
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月点検 年点検	臨時点検	定期整備				良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述				
計測設備	計測盤	操作スイッチ	動作確認	動作状況に問題ないかを確認する。		—	D	—	D	運	誤動作はないか。	調整又は取替える。				
			取付状態、汚損	外観を確認する。		E	E,H	—	E,H	運	汚損、ガタがないこと。	清掃又は修理する。				
		表示器 表示灯	点灯確認	点灯、消灯の状態と取付け状況を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	点灯状態、取付け状態に異常はないか。	取替える。				
			取付状態 汚損	外観を確認する。		E	E	—	E	運	汚損、ガタがないこと。	清掃又は修理する。				
		電源ユニット	電圧	電圧が正常であることを確認する。		E	M	(E)	W	運	電圧が基準値以内であること。	電源、電源ユニットを調査し対処する。			基準値(V)	測定値(V)
			電源ランプ	電源ランプを確認する。		E	E	(E)		運	電源ランプが点灯していること。	原因を調査し対処する。				
		VI処理 ユニット	指示値	指示値に異常ないかを確認する。		E	E	(E)	W	運	異常な指示値を表示していないこと。	原因を調査し対処する。				
			故障表示	故障表示灯が点灯していないかを確認する。		E	E	(E)		運	故障表示が出力されていないこと。	VI計本体を調査し対処する。				
			校正ステップ	自動校正ステップの表示を確認する。		E	E	—		運	自動校正ステップが規定値以下であること。	レンズ面を清掃する、又はランプを取替える。				
			校正動作	自動校正が動作しているかを確認する。		E	E	—		運	自動校正が正常に行われていること。手動にて指示値上げ下げの動作確認。	原因を調査し対処する。				
		CO処理 ユニット	指示値	指示値に異常ないかを確認する。		E	E	(E)	W	運	異常な指示値を表示していないこと。	原因を調査し対処する。				
			故障表示	故障表示灯が点灯していないかを確認する。		E	E	(E)		運	故障表示が出力されていないこと。	CO計本体を調査し対処する。				
		AV処理 ユニット	指示値	指示値に異常ないか確認する。		E	E	(E)	W	運	異常な指示値を表示していないこと。	原因を調査し対処する。				
			故障表示	故障表示灯が点灯していないかを確認する。		E	E	(E)		運	故障表示が出力されていないこと。	AV計本体を調査し対処する。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

操作制御設備 (1/3)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考			
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検		臨時点検				定期整備	良否の判定			点検結果の内容と 提案事項の記述	
操作制御設備	全般	盤面	外観	外観を確認する。		E	E	－	E	運	発錆、汚損がないこと。	修理、又は清掃する。				
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面を確認する。		H	H	－	H	運	部品の緩みがないこと。開閉、施錠、開錠が容易なこと。	調整し増し締めする。 必要により鍵を取替える。				
			フィルタ	盤吸気、排気フィルタを確認する。		E	C	－	X	運	盤吸気、排気フィルタの目詰まりがないこと。	清掃、又は取替える。				
		盤内	外観	外観を確認する。		－	E	－	E	運	汚損、異物がないこと。	清掃、又は異物を除去する。				
			絶縁抵抗	絶縁抵抗値を測定する。		－	M	－	M	休	規定値以下に低下していないこと。	原因を調査し対処する。			基準値(MΩ) 測定値(MΩ)	
			接地	接地線の状態を確認する。		－	E,T	－	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。	増し締め、又は修理する。				
			シーケンス動作確認	実信号で運転制御が確実に行えることを確認する。(運転を伴う)		－	D	(D)	D	運	管理運転を行い、運転動作に渋滞、誤動作のないこと。	原因を調査し対処する。				
			盤内器具	取付状態	外観を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	盤内機器の取付、筐体に緩み のないこと。	増し締めする。			
				配線の状態	配線の接続状況を確認する。		－	E,H	－	E,H	休	端子、端子台に緩みはないか。 配線に破損はないか。	増し締めする。破損の場合 は修理する。			
				端子符号の脱落	外観を確認する。		－	E	－	E	運	脱落、読みとり不良のないこと。	取替える。			
		端子、端子台の状態		外観を確認する。		－	E,H	－	E,H	休	異物、埃の付着、緩み、加熱 による変色のないこと。	清掃、増し締め、又は取替える。				
		操作スイッチ	動作状態	動作状況に問題ないかを確認する。		－	D	－	D	運	誤動作のないこと。	調整又は取替える。				
			取付状態、汚損	外観を確認する。		E	E,H	－	E,H	運	汚損、ガタがないこと。	清掃又は修理する。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

変更箇所

点検・整備チェックシート

設備名:

実施年月日

操作制御設備 (2/3)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点検箇所 点検方法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備考		
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検		臨時点検				定期整備	良否の判定		点検結果の内容と 提案事項の記述	
全般	指示計	動作確認 (零点、指示)	動作することを確認する。		—	E	—	E	運	零点及び指示計値が正常なこと。	調整又は取替える。				
		取付状態 汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	汚損、ガタ、破損がないこと。	清掃、修理、又は部品を取替える。				
		表示器 表示灯	点灯確認	点灯、消灯の状態と取付け状況を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	点灯状態、取付け状態に異常がないこと。	部品を取替える。			
		取付状態 汚損	外観を確認する。		E	E	—	E	運	汚損、ガタ、破損がないこと。	清掃、修理、又は部品を取替える。				
操作制御設備	機側操作盤	変換器	動作状態	故障表示が出ていないかを確認する。		—	E	—	E	運	故障表示が出ていないこと。	原因を調査し対処する。			
		入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。				
		タイマ	動作確認	正常動作することを確認する。		—	D	—	D	運	設定時間で動作すること。	取替える。			
		設定値の確認	設定値が正常であることを確認する。		—	E	—	E	休	所定の設定値に設定されていること。	調整する。				
	換気制御盤	PLC	動作確認 内蔵電池	故障表示が出ていないかを確認する。		—	E,X	(E)	E,X	運及び休	故障表示が出ていないこと。 取替時期がきていないこと。	原因を調査し対処する。 電池を取替える。			
		入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。				
		タッチパネル	動作確認	操作入力に異常はないかを確認する。		—	D	—	D	運	動作状態に問題ないこと。	故障であれば取替える。 原因を調査し対処。			
		ケーブルの接続状態	ケーブル接続状況を確認する。		—	E,H	—	E	運	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。	増し締め。破損の場合は取替える。				
操作入力画面の清掃		ほこりを除去する。		—	C	—	C	休	汚損、異物はないか。	清掃。故障であれば取替える。					
無停電電源		無停電電源の確認	無停電電源の状態を確認する。		—	E	—	E,X	運	故障表示が出ていないこと。 取替時期が来ていないこと。	バッテリーを取替える。				
設定値	設定値の確認	設定値を確認する。		—	E	—	E	運	設定値の内容が最新の状態であること。	調整(再入力)する。					

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

11/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

操作制御設備(3/3)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分		点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
		点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検		臨 時 点 検				定 期 整 備	良否の 判定		点検結果の内容と 提案事項の記述
操作 制 御 設 備	ポン プ 操 作 盤	変換器	動作状態	故障表示が出ていないかを確認する。		—	E	—	E	運	故障表示が出ていないこと。	原因を調査し対処する。			
			入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。			
		タイマ	動作確認	正常動作することを確認する。		—	D	—	D	運	設定時間で動作すること。	取替える。			
			設定値の確認	設定値が正常であることを確認する。		—	E	—	E	休	所定の設定値に設定されていること。	調整する。			
	連 動 盤	PLC	動作確認 内蔵電池	故障表示が出ていないかを確認する。		—	E,X	(E)	E,X	運 及 び 休	故障表示が出ていないこと。 取替時期がきていないこと。	原因を調査し対処する。 電池を取替える。			
			入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。			
		リレー回路	動作確認	リレーの動作状態を確認する。 故障表示の有無を確認する。		—	E	(E)	E,X	運	故障表示が出ていないこと。 チャタリングがないこと。	原因を調査する。又はリレー を取替える。			
			入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。			
		タイマ	動作確認	正常動作することを確認する。		—	D	—	D	運	設定時間で動作すること。	取替える。			
			設定値の確認	設定値が正常であることを確認する。		—	E	—	E	休	所定の設定値に設定されていること。	調整する。			
		変換器	動作状態	故障表示が出ていないか確認する。		—	E	—	E	運	故障表示が出ていないこと。	原因を調査する。			
			入出力信号	入出力信号を確認する。		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査する。			
	無停電電源	無停電電源の確認	無停電電源の状態を確認する。		—	E	—	E,X	運	故障表示が出ていないこと。 取替時期が来ていないこと。	バッテリーを取替える。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

付表１－２ トンネル換気設備点検・整備チェックシート 変更箇所 令和７年３月

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

遠隔監視設備 (1/3)

点検・整備の種類

X

A

D

取替

調整

動作確認

C

M

S

清掃

測定

聴覚

W

T

○

分解

増締

トレンド管理(推奨)

E

H

目視

指触・打診

良否の判定

○

△

×

良好

異常傾向有り

故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨 時 点 検	定期 整 備			良否の 判定	点検結果の内容と 提案事項の記述		
遠 隔 監 視 設 備	全般	盤面	外観		—	E	—	E	運	発錆、汚損がないこと。		修理又は清掃する。		
			扉の開閉、施錠		—	H	—	H	運	部品の緩みがないこと。開閉、施錠、開錠が容易なこと。		調整し増し締めする。必要により鍵を取替える。		
			フィルタ		—	C	—	X	運	盤吸気、排気フィルタの目詰まりがないこと。		清掃又は取替える。		
	全般	盤内	外観		—	E	—	E	運	汚損、異物がないこと。		清掃又は異物を除去する。		
			絶縁抵抗		—	M	—	M	休	規定値以下に低下していないこと。		原因を調査し対処する。	基準値(MΩ)	測定値(MΩ)
			接地		—	E,T	—	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。		増し締め、又は修理する。		
			シーケンス確認		—	D	(D)	D	運	管理運転を行い、運転動作に渋滞、誤動作のないこと。		原因を調査し対処する。		
	全般	盤内器具	取付状態		—	E,H	(E)	E,H	運	盤内機器の取付、管体に緩み のないこと。		増し締めする。		
			配線の状態		—	E,H	—	E,H	休	端子、端子台に緩みはない か。配線に破損はないか。		増し締め。破損の場合は修 理する。		
			端子、端子台 の状態		—	E,H	—	E,H	休	異物、埃の付着、緩み、加熱 による変色のないこと。		清掃、増し締め、又は取替え る。		
			端子符号の脱落		—	E	—	E	運	脱落、読みとり不良のないこ と。		取替える。		
	全般	操作スイッチ	動作確認		—	D	—	D	運	誤動作のないこと。		調整又は取替える。		
			取付状態、汚 損		—	E,H	—	E,H	運	汚損、ガタがないこと。		清掃、又は修理する。		
	全般	指示計	動作確認 (零点、指示)		—	E	—	E	運	零点及び指示計値が正常なこ と。		調整又は取替える。		
			取付状態 汚損		—	E	—	E	休	汚損、ガタ、破損がないこと。		清掃、修理、又は部品を取 替える。		

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

13/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

遠隔監視設備 (2/3)

点検・整備の種類

点検指示事項

X

取替

C

清掃

W

分解

E

目視

A

調整

M

測定

T

増締

H

指触・打診

D

動作確認

S

聴覚

○

トレンド管理(推奨)

良否の判定

○

良好

△

異常傾向有り

×

故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時点検	定期整備			良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述	
遠隔監視設備	全般	表示器 表示灯	点灯確認		—	E,H	(E)	E,H	運	点灯状態、取付け状態に異常がないこと。		部品を取替える。	
			取付状態 汚損		—	E	—	E	運	汚損、ガタ、破損がないこと。		清掃、修理又は部品を取替える。	
	遠方・中央監視操作盤	グラフィックパネル	動作状態 (点灯・指示)		—	D	—	D	運	表示、指示値が正しいこと。		修理又は部品を取替える。	
			取付状態 汚損、損耗		—	E	—	E	休	汚損、ガタがないこと。 損耗、破損のないこと。		清掃、修理又は部品を取替える。	
		タイマ	動作確認		—	D	—	D	運	設定時間で動作すること。		取替える。	
			設定値の確認		—	E	—	E	休	所定の設定値に設定されていること。		調整する。	
	監視・操作卓	PLC	動作確認 内蔵電池		—	E,X	(E)	E,X	運及び休	故障表示が出ていないこと。 取替時期がきていないこと。		原因を調査し対処する。 電池を取替える。	
			入出力信号		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。		原因を調査し対処する。	
		ディスプレイ	表示状態		—	E	(E)	X	運	色むら、画面やけ、見にくい文字がないこと。		取替える。	
			ケーブルの接続状態		—	E,H	—		運	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。		増し締め。破損の場合は取替える。	
			表示面の清掃		—	C	—		運	専用のクリーナを使用し柔らかい布でほこりを除去する。		清掃する。汚れが除去できない場合は取替える。	
		操作入力装置	動作確認		—	D	—	D	運	動作状態に問題ないこと。		故障で有れば取替える、又は原因を調査し対処する。	
			ケーブルの接続状態		—	E,H	—	E	運	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。		増し締め。破損の場合は取替える。	
			操作入力部の清掃		—	E,C	—	E,C	休	汚損、異物がないこと。		清掃。故障で有れば取替える。	

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

14/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名 :
実施年月日
遠隔監視設備 (3/3)

点検・整備の種類

点検指示事項

X 取替 C 清掃 W 分解 E 目視

A 調整 M 測定 T 増締 H 指触・打診

D 動作確認 S 聴覚 ○ トレンド管理(推奨)

良否の判定

○ 良好

△ 異常傾向有り

× 故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時 点 検	定期 整 備			良否の 判定	点検結果の内容と 提案事項の記述	
遠 隔 監 視 設 備	監視・ 操作卓	プリンタ	動作確認		—	D,C	—	D,C	運	紙詰まり、給紙に異常がないこと。	清掃。故障で有れば部品を取替える。		
			印字状態		—	E	—	E	休	印字にムラ、カスレがないこと。	インク、トナーを取替える。		
			ケーブルの接続状態		—	E,H	—	E,H	休	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。	増し締め。破損の場合は取替える。		
		処理装置	電源ランプの確認		—	E	(E)	E	休	電源ランプが点灯していること。	原因を調査し対処する。又はランプを取替える。		
			ハードディスクの動作確認		—	D	—	X	休	使用時に異音、故障がないこと。	取替える。		
			外部記憶装置の動作確認		—	D	—		休	使用時に異音、故障がないこと。	取替える。		
			ケーブルの接続状態		—	E,H	—	E,H	休	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。	増し締め。破損の場合は取替える。		
	伝 送 装 置	変換器	動作状態		—	E	—	E	運	故障表示が出ていないこと。	原因を調査し対処する。		
			入出力信号		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。		
		伝送装置	動作状態		—	E,X	(E)	E,X	運 及 び 休	故障表示がないこと。取替時期が来ていないこと。	原因を調査する。又は電池を取替える。		
			入出力信号		—	D	—	D	運	信号が正常に入出力されていること。	原因を調査し対処する。		
			ケーブルの接続状態		—	E,H	—	E,H	休	コネクタの緩み、配線の破損がないこと。	増し締め。破損の場合は取替える。		
			無停電電源の確認		—	E	—	E,X	運	故障表示が出ていないこと。取替時期が来ていないこと。	バッテリーを取替える。		

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

15/18

付表１－２ トンネル換気設備点検・整備チェックシート 変更箇所 令和７年３月

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名：

実施年月日

換気動力設備 (1/3)

点検・整備の種類

X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定

○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法					点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考	
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検		臨時点検	定期整備				良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述		
換気動力設備	盤面	外観	外観を確認する。		E	E	—	E	運	発錆、汚損がないこと。	修理、又は清掃する。				
		扉の開閉、施錠	保安面と機能面を確認する。		H	H	—	H	運	部品の緩みがないこと。開閉、施錠、開錠が容易なこと。	調整し増し締めする。必要により鍵を取替える。				
		フィルタ	盤吸気、排気フィルタを確認する。		E	C	—	X	運	盤吸気、排気フィルタの目詰まりがないこと。	清掃、又は取替える。				
	盤内	外観	外観を確認する。		—	E	—	E	運	汚損、異物がないこと。	清掃、又は異物を除去する。				
		絶縁抵抗	絶縁抵抗値を測定する。		—	M	—	M	休	規定値以下に低下していないこと。	原因を調査する。			基準値(MΩ)	測定値(MΩ)
		接地	接地線の状態を確認する。		—	E,T	—	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。	増し締め、又は修理する。				
		シーケンス確認	実信号で運転制御が確実に実行を確認する。(運転を伴う)		—	D	(D)	D	運	管理運転を行い、運転動作に渋滞、誤動作のないこと。	原因を調査する。				
	盤内器具	取付状態	外観を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	盤内機器の取付、筐体に緩みがないこと。	増し締めする。				
		配線の状態	配線の接続状況を確認する。		—	E,H	—	E,H	休	端子、端子台に緩みはないか。配線に破損はないか。	増し締め。破損の場合は修理する。				
		端子、端子台の状態	外観を確認する。		—	E,H	—	E,H	休	異物、埃の付着、緩み、加熱による変色のないこと。	清掃、増し締め、又は取替える。				
		端子符号の脱落	外観を確認する。		—	E	—	E	運	脱落、読みとり不良のないこと。	取替える。				
	操作スイッチ	動作状態	動作状況に問題ないかを確認する。		—	D	—	D	運	誤動作のないこと。	調整又は取替える。				
		取付状態、汚損	外観を確認する。		E	E,H	—	E,H	運	汚損、ガタがないこと。	清掃、又は修理する。				
	指示計	動作確認(零点、指示)	動作することを確認する。		—	E	—	E	運	零点及び指示計値が正常なこと。	調整又は取替える。				
		取付状態 汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	汚損、ガタ、破損がないこと。	清掃、修理、又は部品を取替える。				

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

変更箇所

点検・整備チェックシート

設備名：

実施年月日

換気動力設備 (2/3)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点検箇所 点検方法	点検・整備周期と点検方法				点検条件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備考
	点検項目	点検内容		トレンド管理	定期点検 月点検	定期点検 年点検	臨時点検	定期整備			良否の判定	点検結果の内容と 提案事項の記述	
換気動力設備	表示器 表示灯	点灯確認	点灯、消灯の状態と取付け状態を確認する。		E	E,H	(E)	E,H	運	点灯状態、取付け状態に異常がないこと。	部品を取替える。		
		取付状態 汚損	外観を確認する。		E	E	—	E	運	汚損、ガタ、破損がないこと。	清掃、修理、又は部品を取替える。		
	運転時間計	動作状態	運転時間を確認する。		E	E	—	E	運	運転時間の確認。 時間計が動作していること。	調整又は取替える。		
		取付状態 汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。		
	配線用遮断機	取付状態、汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、変色、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。		
		変色	外観を確認する。		—	E	—	E,X	休	変色のないこと。	取替える。		
		開閉動作確認	動作することを確認する。		—	D	—	D	休	手動及びテストボタンで遮断すること。	取替える。		
		接続部	外観を確認する。		—	E	—	T	休	端子、端子台に緩みがないこと。	増し締めする。		
	電磁接触機	取付状態、汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、変色、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。		
		変色	外観を確認する。		—	E	—	E,X	休	変色のないこと。	取替える。		
		音	音の発生状況により異常を確認する。		—	S	—	S	運	動作音に異音がないこと。	取替える。		
		動作確認	動作状態を確認する。		—	D	—	D	運	動作不良、誤動作がないこと。	取替える。		
		接触面の状態	外観を確認する。		—	E	—	E	休	接触面にあれがないこと。	荒れが著しければ取替える。		
		接続部	外観を確認する。		—	E	—	T	休	端子、端子台に緩みがないこと。	増し締めする。		

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。

17/18

変更箇所

点検・整備チェックシート

設 備 名 :
実施年月日
換気動力設備 (3/3)

点検・整備の種類

点検指示事項							
X	取替	C	清掃	W	分解	E	目視
A	調整	M	測定	T	増締	H	指触・打診
D	動作確認	S	聴覚	○	トレンド管理(推奨)		

良否の判定	
○	良好
△	異常傾向有り
×	故障又は機能に支障有り

区分	点検整備		点検の目的 点 検 箇 所 点 検 方 法	点検・整備周期と点検方法				点 検 条 件	良否の判定方法 及び 判定基準	不良時の処置 の方針	点検結果		備 考		
	点検項目	点検内容		ト レ ン ド 管 理	定期点検 月 点 検	定期点検 年 点 検	臨時 点 検				定期 整 備	良否の 判定		点検結果の内容と 提案事項の記述	
換気動力設備	換気動力盤・補機盤・コントローラセンター	配線用漏電遮断器	取付状態、汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、変色、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。			
			変色	外観を確認する。		—	E	—	E,X	休	変色のないこと。	取替える。			
			開閉動作確認	動作することを確認する。		—	D	—	D	休	手動及びテストボタンで遮断すること。	取替える。			
			接続部	外観を確認する。		—	E	—	T	休	端子、端子台に緩みがないこと。	増し締めする。			
		計器用変成器	取付状態、汚損	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、変色、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。			
			ヒューズの異常	外観を確認する。		—	—	—	E,X	休	ヒューズホルダの緩み、ヒューズ切れがないこと。	増し締め、調整、又は取替える。			
			音	音の発生状況により異常を確認する。		—	S	—	S	運	動作音に異音がないこと。	取替える。			
			接続部	外観を確認する。		—	E	—	T	休	端子、端子台に緩みがないこと。	増し締めする。			
			接地	接地線の状態を確認する。		—	E,T	—	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。	増し締め、又は修理する。			
		進相用コンデンサ	外観、取付状態	外観を確認する。		—	E	—	E	休	取付部の緩み、汚損、変色、破損がないこと。	増し締め、清掃、又は取替える。			
			音	音の発生状況により異常を確認する。		—	S	—	S	運	動作音に異音がないこと。	取替える。			
			接地	接地線の状態を確認する。		—	E,T	—	E,T	休	接地線が正常に結線されていること。	増し締め、又は修理する。			
接続部	外観を確認する。			—	E	—	T	休	緩みのないこと。	増し締めする。					

・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。（上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。）

・点検条件の記号は、運:運転中 休:休止中

・詳細の記述が必要な項目については、別表－4に記入する。